

医療の質向上・安全推進センター（QSセンター）

1. スタッフ（2018年4月1日現在）

センター長（医師）	○新保 昌久（専）
副センター長（医師）	味村 俊樹（専）
副センター長（医師）	佐久間康成（兼）
副センター長（医師）	熊谷 秀規（兼）
副センター長（医師）	藤田 晃史（兼）
副センター長（看護師）	○渡井 恵（兼）
看護師	◎寺山 美華（専）
看護師	相場 雅代（専）
薬剤師	◎吉岡 崇幸（専）
講師	鈴木 義彦（兼）
講師	浅田 義和（兼）
助教	前田 佳孝（兼）
医師	渡邊 俊司（兼）
医師	高橋 詳史（兼）
医師	薄井 佳子（兼）
臨床工学技士	進藤 靖夫（兼）
薬剤師	○中澤 寛仁（兼）

事務 6名

◎ 専従医療安全管理者

○ 医療安全管理者

2. 医療の質向上・安全推進センターの特徴

院内で発生した医療安全上の諸問題に組織横断的に対応するため、2003年4月に病院長直轄組織の「医療安全対策室」を設置、2004年には「医療安全対策部」に改称し、2005年には専任の医師1人、看護師長2人を配置した。医療安全対策部は、院内インシデント報告制度の整備、職員研修の実施、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応等、院内の安全管理に関する多様な業務を担当してきた。

2017年4月、高度医療を提供する特定機能病院における医療の質・安全管理体制を強化するため、新たな医療安全管理部門として、「医療の質向上・安全推進センター」（略称：QSセンター）に改組した。新たな名称には、事故発生時の危機管理だけでなく、「平時の医療の質の向上が医療安全につながる」という理念と、「より前向きな取り組みで医療安全を推進していこう」という意気込みを込めている。センターは、安全管理部門（インシデント報告の収集・分析、有害事象の原因究明、医療安全管理指針・各種マニュアルの整備、院内巡視による確認・指導など）、渉外担当部門（有害事象・訴訟への対応など）に加え、質向上・臨床倫理部門（高難度医療技術および未承認薬使用に関する審査・モニタリ

ング、臨床倫理への対応など）で構成されるが、専従、専任、兼務スタッフおよび各部門のQSマネージャーと連携して、医療の質と安全を高める取り組みを進めている。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- （1）医療の質向上・安全推進委員会、QSマネージャー会議の開催
- （2）医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- （3）医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- （4）職員に対する教育（講習会、研修会の開催）
- （5）全死亡症例の把握
- （6）有害事象発生時の支援
- （7）臨床倫理に関する情報収集、連絡調整
- （8）紛争事例への対応（経営管理課、総合相談室と連携）

●平成29年のおもな活動実績

- （1）医療安全策講演会（全職員対象）

①医療安全講演会

・開催日 1月31日

演 題 「医療事故調査制度について」

医療の質向上・安全推進センター

センター長 新保 昌久

参加者 1,050名

②医療安全講習会

・開催日 5月18日

演 題 「予期しない出来事は必ず起こる！

～回避のために何をすべきか、何ができるか～」

メディカルシミュレーションセンター

センター長 河野 龍太郎

参加者 2,519名

③医療安全・感染合同講演会

・開催日 6月12日

6月23日（DVD上映会）

6月27日（DVD上映会）

演 題 「医療安全 最近の話題」

医療の質向上・安全推進センター

センター長 新保 昌久

参加者 2,718名

④医療安全講演会

・開催日 10月30日

演 題 「訴訟・トラブルに強い！カルテ・看護記録の書き方」

北浜法律事務所・外国法共同事業

医師・弁護士 長谷部 圭司

参加者 1,588名

（２）医療安全に関する研修会

- 1月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
・研修医医療安全研修会（１回目）
- 2月・研修医医療安全研修会（２回目）
・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 3月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 4月・新人職員オリエンテーション
・多職種合同医療安全研修会
・新人研修医シミュレーション研修
・新人研修医リスクマネジメント演習
・新人看護師研修会
・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
・新QSマネージャーオリエンテーション
・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 5月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 6月・AED研修会（２回）
・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 7月・AED研修会（２回）
・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 8月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
・新QSマネージャーオリエンテーション
- 9月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
・医療メディエーション研修会
- 10月・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 11月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 12月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
・新QSマネージャーオリエンテーション

（３）医療安全に関する主な技術研修

- ①中心静脈カテーテル挿入
- ②レジデントオリエンテーション
点滴・採血等の演習
医療安全に関する講義
輸液・シリンジポンプの使い方
- ③新人看護職臨床研修
看護基礎技術
- ④多職種合同医療安全研修会
動画を用いたケースディスカッション
- ⑤エコー下中心静脈カテーテル挿入
- ⑥心肺蘇生・AED研修（新人）

（４）医療安全管理指針、マニュアル改正等

- ①医療安全管理指針（一部改正）
- ②医薬品の安全使用のための手順書
- ③リスクマネジメントマニュアル

（ポケット版）第7版

（５）あんぜん便り・安全情報

- ①透析前の体重測定の誤り
- ②2016年に提供した医療情報
- ③術前に中止する薬剤の把握不足
ー経口避妊剤ー
- ④輸液中の四肢からの採血
- ⑤2013年から2015年に提供した医療情報
- ⑥手術部位の左右の取り違い
ー脳神経外科手術ー
- ⑦併用禁忌の薬剤の投与（第2報）
- ⑧中心静脈ラインの開放による空気塞栓症
- ⑨インスリン単位の誤解（第2報）
- ⑩オーバーテーブルを支えにした患者の転倒
- ⑪胸腔ドレーンの大気への開放
- ⑫Q.S.Times（創刊号～第7号）

（６）検討、改善事項等

- ①術後にクモ膜下出血を発症した検討
- ②救命のためVA-ECMOを挿入した事例
- ③術後に尿管通過障害・尿管腔瘻が生じた事例
- ④一時的ペースメーカーリード穿孔の事例
- ⑤CVカテーテル誤挿入の事例
- ⑥入院を拒否し続ける患者の対応
- ⑦術後に気胸を合併した事例
- ⑧血腫による気道圧排の事例

（７）院内横断的活動

- ①ICT活動
- ②呼吸ケアチーム活動
- ③外来化学療法ワーキンググループ活動
- ④委託業者との連絡会

（８）医療の質向上・安全推進委員会（委員20名）

毎月1回 第2火曜日

（９）QSマネージャー会議

隔月1回 第3木曜日

（10）ワーキンググループ活動

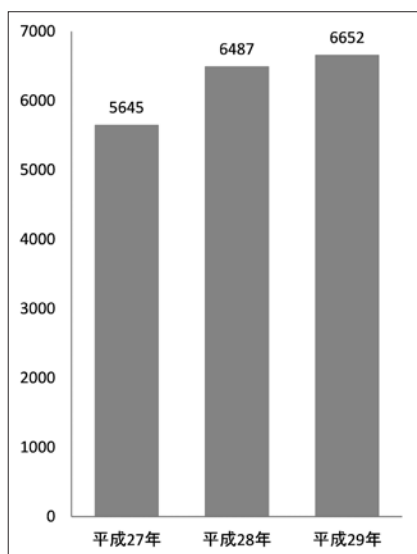
- ①院内急変対応
- ②転倒転落
- ③静脈血栓塞栓症（VTE）予防対策
- ④CVC（中心静脈カテーテル）挿入
- ⑤気管切開安全対策
- ⑥インフォームドコンセント（IC）

（11）モーニングカンファレンス

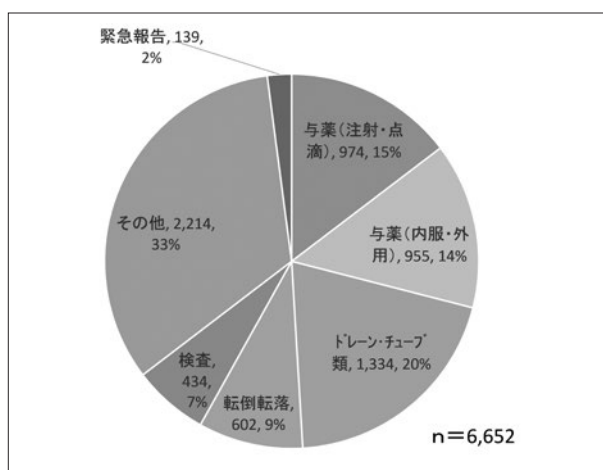
毎週水曜日

(12) インシデント・アクシデントレポート

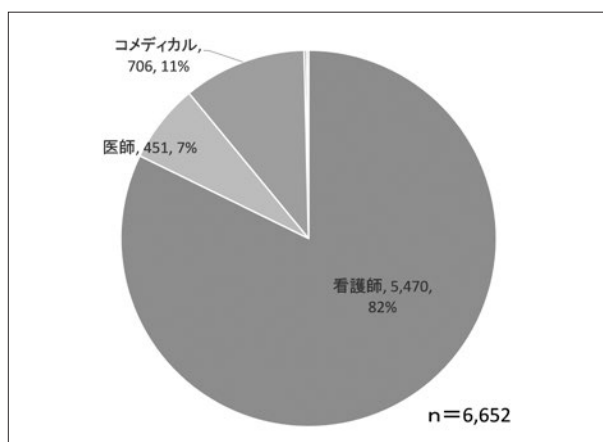
①報告件数比較 (平成27年～29年：1～12月)



②平成29年 種類別報告一覧



③平成29年 職種別報告一覧



(14) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. 2018年の目標・事業計画等

従来の業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- ①インフォームドコンセント(IC)に関するルール・業務フローの見直し
- ②院内統一マニュアルと各部署マニュアルの整合性再確認
- ③QSマネージャー業務の確立と研修の強化
- ④院内巡視の質改善とフィードバックの強化
- ⑤臨床倫理への対応強化
- ⑥高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供を検討するための体制確立
- ⑦新人・若手職員に対する医療安全研修の構築
- ⑧医療事故調査制度の理解向上と実働に向けた訓練の実施
- ⑨検査結果を迅速に診療につなげる体制のさらなる改善

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。

(13) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加